

中長期ビジョンの策定

－ グランドデザイン(案) －

平成18年9月21日

企画委員会

基本的考え方

電気学会の「ビジョン」、「とるべき進路」等は、これまでも議論されてきました。

しかし、これらの提案を実行に移していくには、マンパワーと会員の意識改革等が必要であり、フォローされてきていないのが現状です。

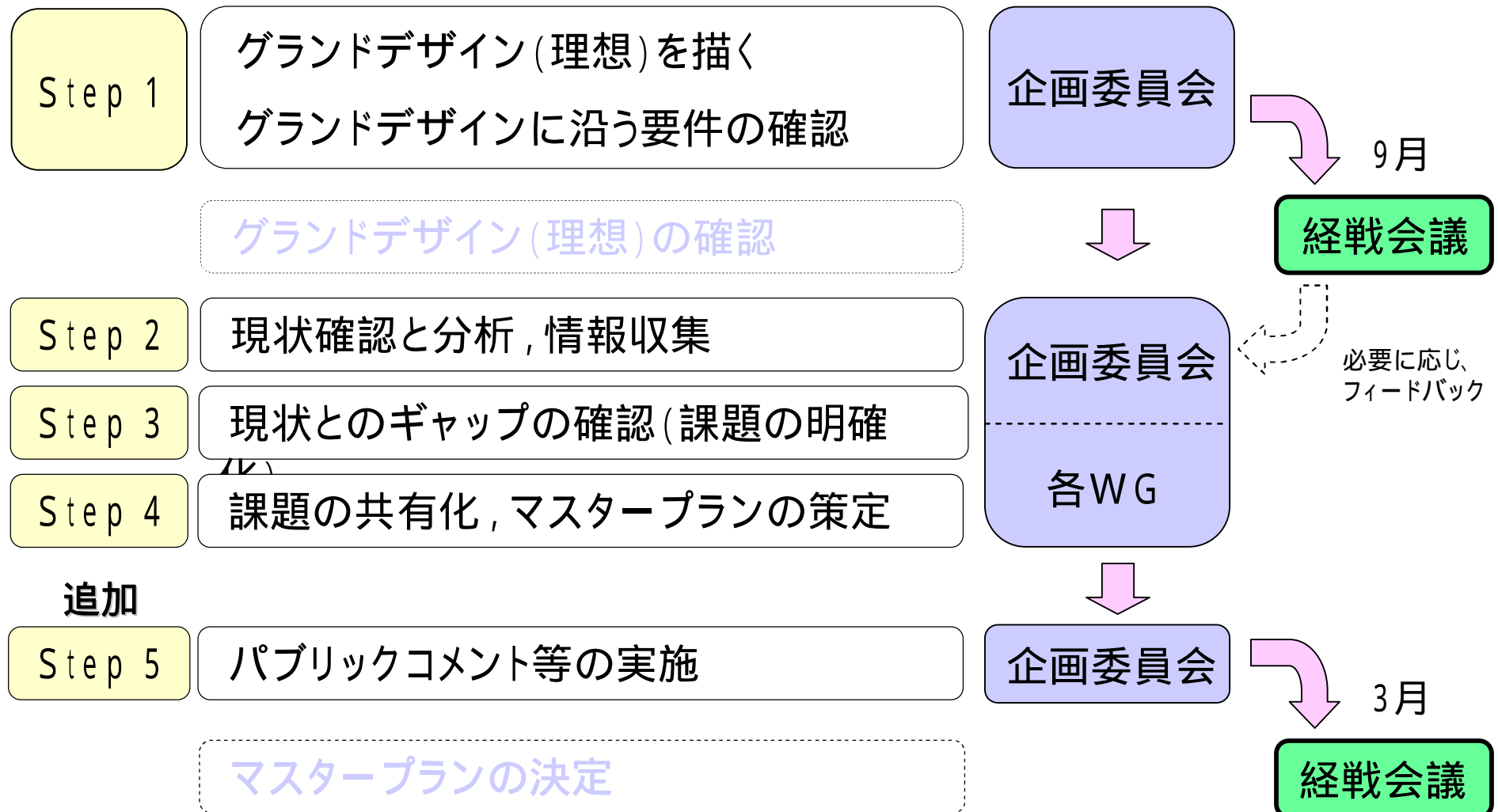
今回、「経営戦略会議」 - 「企画委員会」で扱う領域が明確化されたことにより、本年度から、

**「中長期ビジョン」は、学会の基本政策目標であり、
策定は「経営戦略会議」、「企画委員会」のミッション**

として、次年度事業企画・戦略の策定等とともに、必要に応じ見直しを図っていきます。

< Mission > 中長期ビジョンを18年度内に策定する。

策定へのアプローチ



各種ビジョン等の時間軸イメージ

グランドデザイン (長期ビジョン: 5 ~ 10年程度)

マスタープラン (中期ビジョン: 3 ~ 5年程度)

アクションプラン (短期目標: 1 ~ 3年)

事業計画 (翌年度執行計画)

電気学会の果たす基本使命

公正・中立な立場において、

(1) 社会への貢献

電気学術全般に関する研究の進歩とその成果の利用普及を図り、
電気学術の発展と文化の向上に寄与することにより、社会へ貢献する。

(2) 会員への貢献

電気学術全般に関する知の発見、交換、体系化、蓄積および適切な
発信ならびにそれらの場の提供により、個人会員および事業維持員へ
貢献する。

目指すべき学会像

近代産業・文明の基礎である電気技術を基盤とし、
電気学術を学際的に発展させ、電気に関する知識
および技術を社会へ還元するとともに、学術および
産業支援等を通して見える価値を会員へ提供し、
社会とともに持続的な成長を達成する。

電気学会の目指すべき方向（１）

（１）学会プレゼンスの向上

電気学術の権威として、電気をより楽しく魅力的なものとなるよう積極的に活動し、電気関係学協会のコアとなる。

（２）知的資産の創出

産学官の有機的な連携のもと、新たな研究領域やビジネスモデル等の創出を支援し、高度な調査研究成果等をタイムリーに発信する。

（３）科学技術政策への積極的関与

科学技術の振興や技術立国への支援として、政府への提言や社会への情報を発信する。

（４）国際活動の積極的推進

国際会議の招致、運営および支援や英文誌の発刊等の国際活動を強化し、国際的評価を向上する。

電気学会の目指すべき方向（２）

（５）国内外標準規格への参画

JEC規格の知見を活かし、国内外標準規格へ積極的に参画する。

（６）科学技術を担う人材の育成、活躍の促進

電気技術の継承と将来の技術開発・革新を担う次世代電気技術者の育成に務め、その活躍の場を提供することにより、電気技術者の地位の向上を図る。

（７）会員メリットの向上

学会活動の更なる活性化に務め、会員の多様なニーズに迅速・的確に応えるようサービス内容を充実し、様々な「見える価値」を提供する。

（８）組織運営基盤の増強

運営基盤となる組織の効率化と経営資源を戦略的に集中・再配分するとともにインフラ機能の強化を図り、持続的に成長する。

必要な要件（機能）

- （ 1 ） 魅力ある研究テーマを持続的に創出する機能
- （ 2 ） 会員に応えられる体制や活動の場を提供する機能
- （ 3 ） 産学官の連携機能の強化や他学協会と連携する機能
- （ 4 ） 高度な電気技術者を育成する機能
- （ 5 ） タイムリーに情報発信・情報収集する機能
- （ 6 ） 健全な運営基盤を維持する組織・インフラ機能
- （ 7 ） 国際競争力を強化、維持する機能